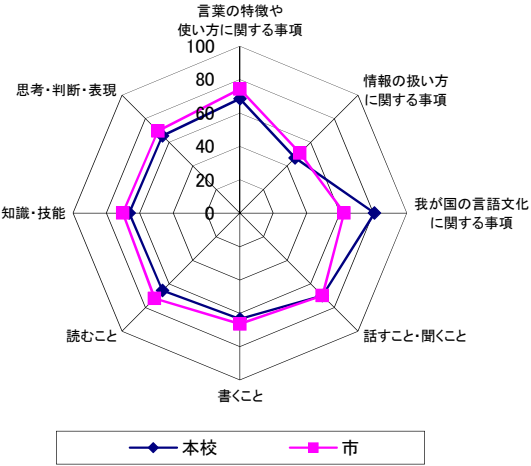


宇都宮市立東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	68.6	74.3	74.8
	情報の扱い方に関する事項	46.8	50.9	48.4
	我が国の言語文化に関する事項	80.6	62.4	60.8
	話すこと・聞くこと	69.9	69.9	69.7
	書くこと	63.4	66.4	64.6
	読むこと	65.6	72.3	71.0
観点別	知識・技能	66.4	70.1	70.0
	思考・判断・表現	65.6	69.5	68.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均と比べて5.7ポイント低い。 ●第6学年に配当されている漢字の読みの問題においては、全ての問題で市の平均を下回っている。また、第5学年に配当されている漢字の書きの問題においては、3問中2問が市の平均を下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字の読みについては、漢字ドリル音読等で速くたくさん読む練習を積み重ねて、確実に読めるようにしていく。 ・漢字の書きについては、単純な漢字練習をさせるのではなく、熟語で覚えるようにしたり、間違えた漢字だけを練習するようにしたり、工夫した漢字学習に取り組み、定着を図る。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は、市の平均と比べて4.1ポイント低い。 ●様々な情報媒体を比べながら読み、情報と情報との関係について理解した上で、目的に応じて文章を書く問題においては、平均正答率は19.4%であり、市の平均を7.1ポイント下回っている。	・2つの新聞記事を読み比べたり、同じテーマの説明文とレポートのような文章を重ねて読んだりする学習活動を設定し、それらの共通点や相違点などを読み取ったり、筆者の主張について比較したり、文章による書かれ方について比べてその効果について考えたりするなど、複数の文章を読み比べる学習を取り入れ、正確に情報を抜き出す力の育成を図る。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、市の平均と比べて18.2ポイント高い。 ○漢字の由来(象形文字・指事文字・会意文字・形声文字)についての設問において、平均正答率は80.6%であり、市の平均よりも18.2ポイント上回っている。	・日頃から言葉に注目できるように、普段の生活でも漢字の由来などについて言及して、児童の関心を高めていく。また、タブレット等を活用し、AIドリルで言葉の学習の問題に取り組みさせるなど、言葉の学習のさらなる定着を図っていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均と同じである。 ○計画的に話し合い、考えを広げるための工夫を捉える設問では、平均正答率は87.1%であり、市の平均より1.0ポイント上回っている。	・国語の時間だけでなく、学級活動や総合的な学習の時間なども活用し、児童が目的をもって話したり、お互いの目的を確認し合いながら、話し合う学習活動を設定していく。その際、よりよい「話し方」やよりよい「話し合い方」にするためのポイント等を確認し、「話す・聞く」力を伸ばしていく。
書くこと	平均正答率は、市の平均と比べて1.0ポイント低い。 ●グラフから読み取った事実を書く設問において、平均正答率は71.0%であり、市の平均を7.4ポイント下回っている。また、情報と情報との関係について理解し、文章を書く設問においては、平均正答率は19.4%であり、市の平均を7.1ポイント下回っている。	・まず、文章を書き慣れるところから始め、文章を書く楽しさを味わわせていく。そのために、書いた文章を互いに読み合ったり、教師が紹介したりする。次に、文章を書く際、条件に当てはまるように書く練習をさせる。例えば、字数の制限だったり、書き出しの制限、色彩語や比喩表現など表現技法を入れて書かせるなど、楽しみながら書く力の育成を図っていく。
読むこと	平均正答率は、市の平均と比べて6.7ポイント低い。 ●物語文を読み、登場人物の行動について描写を基に捉える設問において、平均正答率は77.4%であり、市の平均を6.8ポイント下回っている。また、説明文を読み、文章全体の構成を捉える設問において、平均正答率は38.7%であり、市の平均を14.5ポイント下回っている。	・読む力の育成を図るために、物語文においても説明文においても、書かれていることを正確に読めるようにする。そのために、まず正確に音読できるようにする。次に、詳細な読解だけでなく、大きく全体を捉えるように構造を把握するような読み取りの学習もする。さらに、正確に確認するだけの読みではなく、様々な解釈を語り合うような学習活動を設定することにより、読むことの楽しさも味わわせていきたい。